

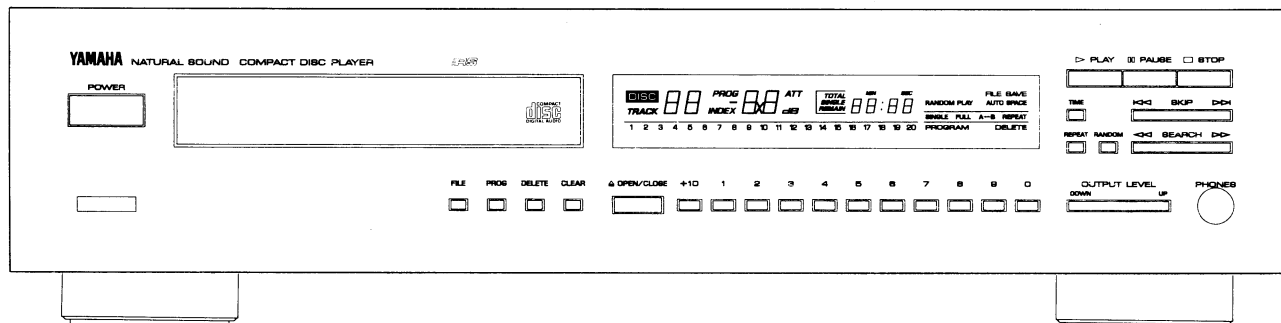
YAMAHA

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

CDX-1030/CDX-930



取扱説明書



このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤーCDX-1030/CDX-930をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDX-1030/CDX-930の優れた性能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読み下さいますよう、お願い致します。

お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

CDは従来のアナログレコードやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリュームの位置にご注意ください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

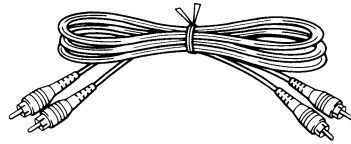
目次

ご使用の前に	2
豊かなオーディオライフのために	2
特長	2
接続のしかた	3
各部の名称とはたらき	4
基本的な演奏	
一曲目から聞きたいときは	6
好きな曲から聞きたいときは	7
いろいろな演奏	
好きな曲を好きな順に聞きたいときは	8
プログラムのチェック・変更・追加	9
オートスペースについて	9
曲を飛ばして聞きたいときは	10
プログラムの保存について	10
曲を順不同に聞きたいときは	11
インデックスから聞きたいときは	12
繰り返して聞きたいときは	13
指定した時間に聞きたいときは	13
コンパクトディスクの取り扱いについて	14
リモコンについて	14
故障かなと思ったら	15
参考仕様	15
ヤマハホットラインサービスネットワーク	16

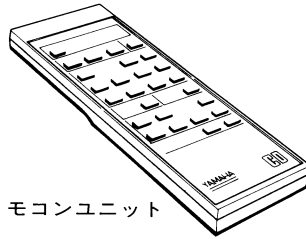
ご使用の前に必ずお読みください。

ご使用の前に

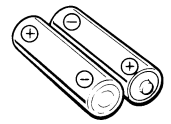
■付属品を確認してください



出力コード (2P ピンプラグコード)



リモコンユニット



単4乾電池 (SUM-4) 2本

豊かなオーディオライフのために (使用上のご注意)

■電源

国内のみでご使用ください。
家庭用電源コンセント (AC 100 V) に接続してください。
※動作不良や故障の原因になります。

■電源コード

電源コードをひっぱらないでください。(プラグを持って抜いてください)
電源コードの上に重い物をのせないでください。
※電源コードが断線したり、感電の原因になります。

■本体

キャビネットは開けないでください。
本体内に金属類 (針・硬貨など) を落とさないでください。本体内に液体 (水・アルコールなど) をこぼさないでください。
本体内にもえやすい物 (紙・布など) を落とさないでください。
※火災・感電・故障の原因になります。

■設置場所

ぐらついた台の上や、傾いた所には置かないでください。
※落ちたり倒れたりすると危険です。
湿気の多い所、ほこりの多い所には置かないでください。
直射日光のあたる所、熱の発生するアンプの上など温度の高い所、極端に寒い所には置かないでください。
※動作不良や故障の原因になります。

■雑音

本機を再生中はチューナーから雑音が出たり、テレビの画面が乱れたりすることがあります。そのようなときは、それらの機器と本機の距離を離すか、チューナーやテレビのアンテナを専用の屋外アンテナに変えてください。また、本機をご使用にならないときは、本機の電源スイッチを切ってください。

■結露

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置してある部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露が付きまします。
露がついたままでは信号の読みとり再生ができませんので、そのような場合は、電源を入れて1~2時間そのままに放置してしてからご使用ください。結露と同じ症状は夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合には本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。

■長期間

旅行や外出などで留守にされる場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
※不慮の事故で火災の原因になります。

高温・低温はさけて! 窓際や直射日光の当たる場所、暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)は、さけてください。 	セットの放熱を妨げない 放熱を妨げないため、通気性の悪い場所には設置しないでください。 	ほこり・水気をさけて! ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。 	
開けないで! 	国内のみ使用可 家庭用電源コンセント AC100V 	こわれた? 15ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。 	薬物厳禁 ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色します。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないようにご使用ください。

特長

本機は CD (コンパクトディスク) の持つ優れた音質を充分にお楽しみ頂けるよう、ヤマハ最新のデジタルオーディオ技術を結集して開発された CD プレーヤーです。
周波数特性 2 Hz~20,000 Hz±0.5 dB、ダイナミックレンジ 98 dB、高調波歪率 0.003%以下 (1 KHz)、S/N 比 110 dB 以上というオーディオ特性と、測定限界以下のワウフラッターに裏付けされた精緻な音質を実現しました。

●便利なプログラム保存機能

ディスクごとに設定したプログラムを保存・再生でき、再度プログラム設定をやり直す手間が省けて便利です。
(1 ディスク、10 プログラムで約 100 枚程度)

●Hi-Bit デジタル技術が息づく回路設計

4DAC、18ビットデジタルフィルター、ノイズシェーパーシステムなど、ヤマハ最新の高精度デジタル演算システム: Hi-Bit DIGITAL の回路設計が随所に生きずく本機は、デジタルステージでの原音の追求を新次元へと高めました。

●便利なりモコンを標準装備

接続のしかた

●接続の際は各機器の電源を切り、右チャンネル (R)、左チャンネル (L) を確認して正しく接続してください。

接続するアンプにより接続方法は異なります。

■デジタル入力 (同軸、光) 端子付きのアンプと接続する場合

※ DIGITAL OUT ON OFF スイッチは必ず ON にしてください。OFF のとき、DIGITAL OUT (COAXIAL、OPTICAL) 端子から音声は出力されません。

■アナログ音声入力端子のみを持つアンプと接続する場合

※ DIGITAL OUT スイッチは必ず OFF にしてください。ON のとき、LINE OUT (L、R) 端子およびヘッドホンから音声は出力されません。

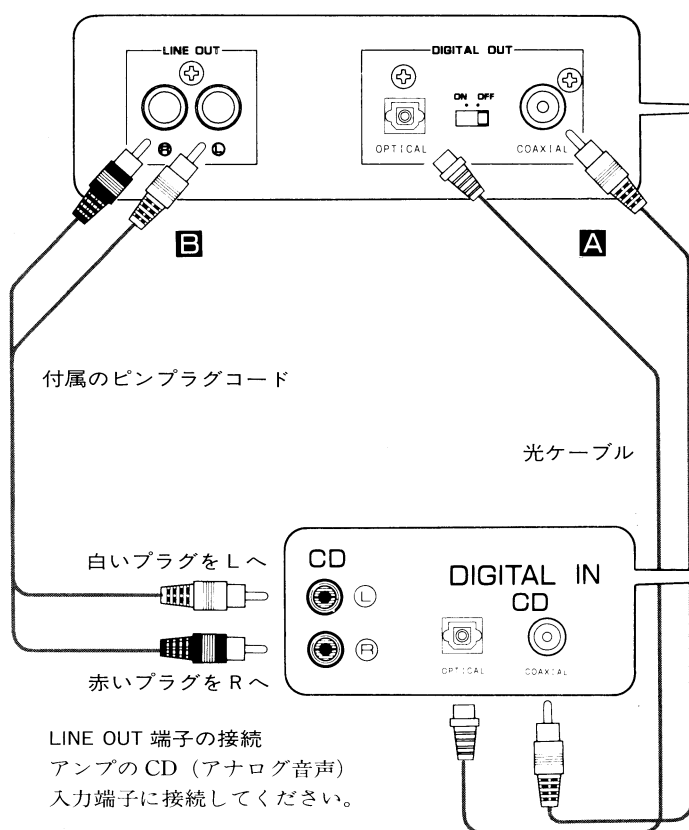
●接続する機器によっては、端子名などが異なることがあります。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。

A

DIGITAL OUT ON OFF スイッチ
出力する音声の種類を選びます。

スイッチ	音声の種類/出力端子名
ON	デジタル音声/DIGITAL OUT 端子
OFF	アナログ音声/LINE OUT 端子

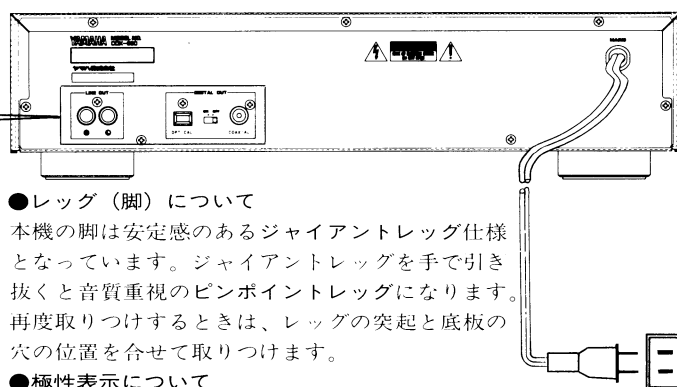
B



DIGITAL OUT 端子の接続

アンプのデジタル入力端子 (同軸、光) に接続してください。

※本機の DIGITAL OUT OPTICAL (光出力) 端子は、EIAJ 規格にもとづき設計されています。接続する光ケーブルは EIAJ 規格を満たさないものをご使用になりますと正常に動作しないことがあります。

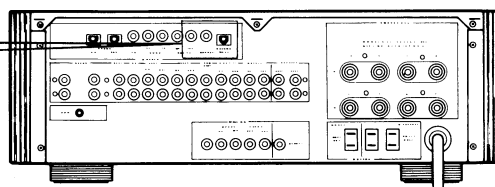


●レッグ (脚) について

本機の脚は安定感のあるジャイアントレッグ仕様となっています。ジャイアントレッグを手で引き抜くと音質重視のピンポイントレッグになります。再度取り付けするときは、レッグの突起と底板の穴の位置を合せて取りつめます。

●極性表示について

本機の AC プラグには極性表示 (▼) がされています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。プラグの極性表示 (▼) 側を壁のコンセント (AC 100 V、50/60 Hz) の穴の長い方に差し込んでください。



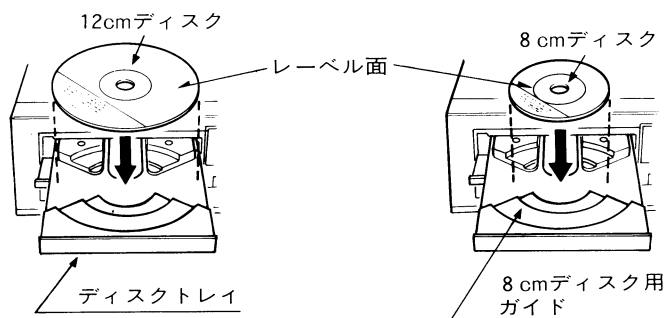
ディスクのセット

コンパクトディスクは、必ず文字の書かれているレーベル面を上にしてディスクトレイの中央に正しくセットしてください。(8 cm ディスクは 8 cm ディスク用ガイドの中にセットします)

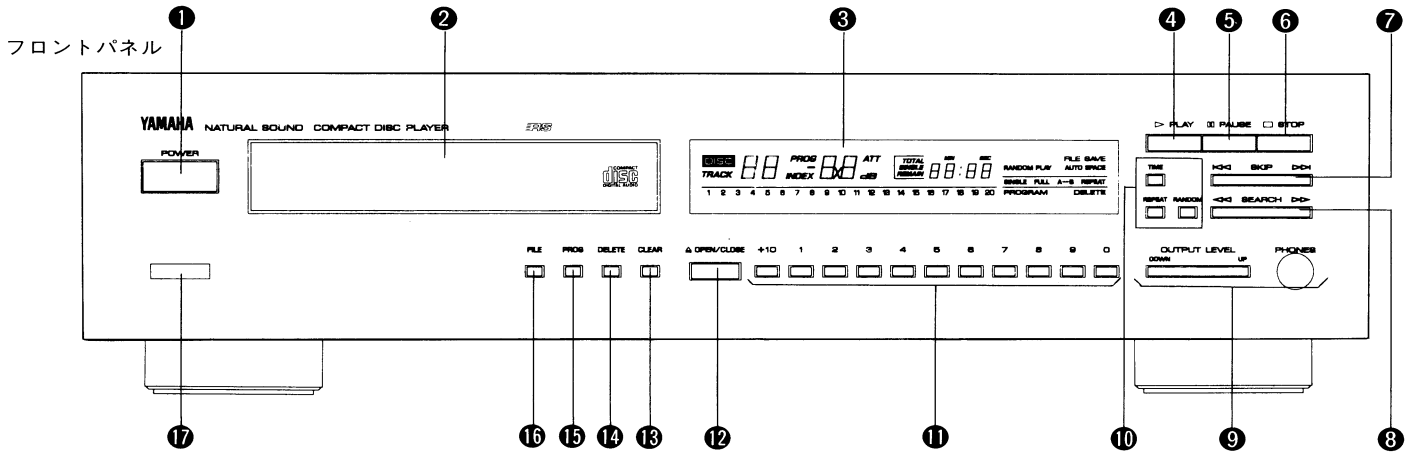
* コンパクトディスクの演奏は片面のみです。

* ディスクトレイにセットできるディスクは 1 枚だけです。複数のディスクをセットしますと、故障の原因となります。

・市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。



各部の名称とはたらき

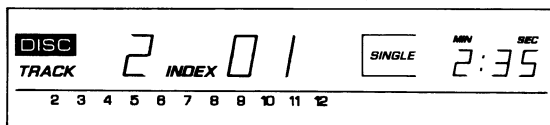


- ① **POWER** スイッチ
押すと電源が入り、もう一度押すと切れます。
- ② **ディスクトレイ**
ディスクをセットするところです。OPEN/CLOSEを押すと開き、もう一度押すと閉まります。
ディスクトレイは手で軽く押ししても、PLAYやPAUSEまたは10キー（数字キー）を押しても閉じることができます。
- ③ **ディスプレイ**
5ページ参照。
- ④ **プレイ** PLAY
押すと演奏がスタートします。
- ⑤ **ポーズ** PAUSE
演奏中にこのキーを押しますとその箇所ポーズ（一時停止）します。
- ⑥ **ストップ** STOP
押すと演奏が停止します。
- ⑦ **スキップ** SKIP
演奏中またはポーズ中に前後の曲の頭出しをするキーです。
プログラムのセット中またはチェック中はプログラム番号を呼び出すことができます。
- ⑧ **サーチ** SEARCH
演奏中またはポーズ中に早送りや早戻しをするキーです。
2秒以上押し続けると高速で早送りまたは早戻しします。
- ⑨ **ホーンジャック、OUTPUT LEVEL** コントロール
アンプとの接続がリアパネルのLINE OUT端子を使ってアナログ接続しているとき、ヘッドホンはこのジャックに接続しますと、本機から直接演奏を聞くことができます。
OUTPUT LEVELのUP側を押しますとヘッドホンやLINE OUT出力の音量が大きくなる（最大-00）なり、DOWN側を押しますと小さくなる（-01...-24、-∞でミュート）なります。設定された出力レベルは電源がOFFになってもメモリーされています。
- ※ DIGITAL OUT端子を使ったデジタル接続の場合は出力は固定です。また、ヘッドホンでの試聴もできません。
- ⑩ **タイム** TIME
このキーを押す度にディスプレイの時間表示の内容が切り換わります。
リピート REPEAT リピート（繰り返し）演奏をするときに押します。
ランダム RANDOM ランダム演奏をするときに押します。
- ⑪ **10キー (+10, 1~0)**
選曲やプログラムのセット時に曲番を指定するキーです。
リモコンには+20, +30キーが付きます。
- ⑫ **オープン/クローズ** OPEN/CLOSE
ディスクトレイを開閉させるキーです。
- ⑬ **クリア** CLEAR
プログラムを解除するときに使います。

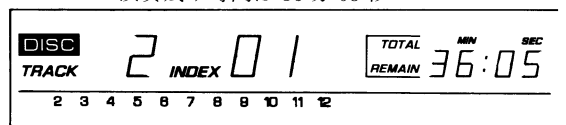
ディスプレイについて

TIME キーを押すごとに、表示の内容が変わります。

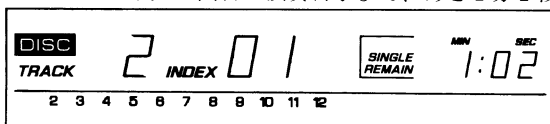
SINGLE 例 2曲目を演奏中、2分35秒経過



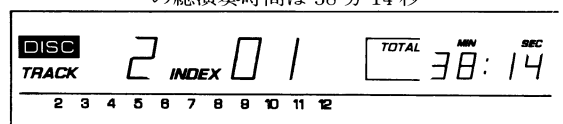
TOTAL REMAIN 例 2曲目を演奏中、ディスク（プログラム）の演奏残り時間は36分05秒

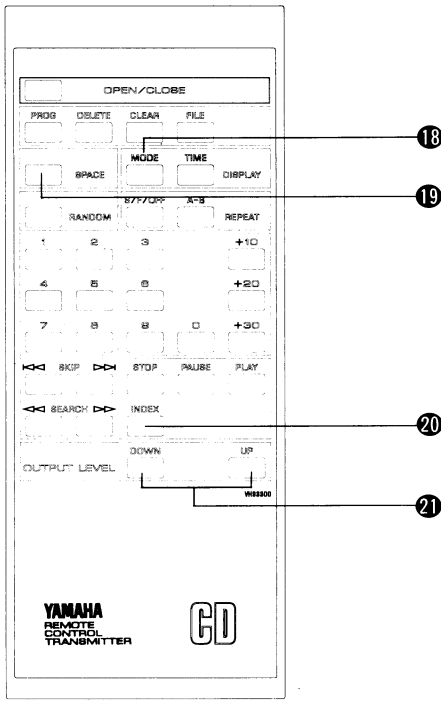


SINGLE REMAIN 例 2曲目の演奏終了まで、あと1分2秒



TOTAL 例 2曲目を演奏中、ディスク（プログラム）の総演奏時間は38分14秒





リモコン

- 18 **DELETE**
デリートプログラムのセットのときに使います。
- 19 **PROGRAM**
プログラム演奏のセットやチェックするときに使います。
- 16 **FILE**
ファイル
一度設定したプログラムをSAVE (保存) したり、ファイルプレイモード (保存プログラムの呼び出し) にするときに使います。
- 17 **REMOTE CONTROL 受光窓**
リモートコントロール 受光窓
付属のリモコンからの信号を受光する窓です。
- 18 **DISPLAY MODE**
ディスプレイモード
LCDディスプレイの表示モードを、
全灯 ↔ TRACK、時間表示のみに切り換えます。
- 19 **SPACE**
スペース
曲間に4秒間のスペースを入れます。
- 20 **INDEX**
インデックス
インデックスを呼び出すときに押します。
- 21 **UP, DOWN**
アップ/ダウン
本体のOUTPUT LEVELと同じはたらきをします。

ディスプレイ

DISC インジケータ

ディスクトレイ内にディスクが正しくセットされているときは点灯し、ディスクが無いまたは裏返しなど正しくセットされていないときは点滅した後消灯します。

プログラム、インデックスインジケータ

プログラムナンバー、インデックスナンバーやOUTPUT LEVELで可変のアナログ音声の出力レベル(最大: -00dB~最小: -∞)を表示します。

TOTAL/SINGLE/REMAIN インジケータ

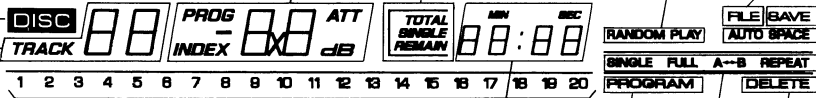
TIMEを押すごとに時間表示の内容が変わります。

ランダムプレイインジケータ

ランダム演奏中に点灯します。

ファイルインジケータ

ファイルプレイモードのとき点灯します。



TRACK (曲番) インジケータ

演奏時やプログラム時に曲番を表示します。ディスクをセットしてOPEN/CLOSEでディスクトレイを閉じると、約3秒間、そのディスクに収録されている総曲数を表示します。

ミュージックカレンダー

ディスクに収録されている曲番などが点灯表示します。

タイムインジケータ

演奏時間を表示します。

プログラムインジケータ

プログラムのセット時や演奏中に点灯します。

セーブインジケータ

プログラム演奏を保存 (SAVE) したり、既にプログラムを保存したディスクがセットされると点灯します。

オートスペース

曲間に4秒間のスペースを入れるとき点灯します。

デリートインジケータ

デリートプログラムのセット時や演奏中に点灯します。

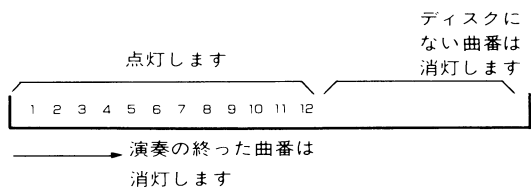
リピートインジケータ

リピート演奏の種類がSINGLE (1曲) リピート、FULL (全曲) リピート、A-B (2点間) リピートかを表示します。

ミュージックカレンダーについて

本機は演奏状況やプログラムのセット状況を一日で把握することのできる、便利なミュージックカレンダーを装備しています。ディスクをセットしますと、ディスクに収録されている曲番が点灯し、演奏を終えた曲番は順次消灯します。またプログラムの選曲時は、プログラムされた曲の曲番が点灯しますので、セットミス事前に防ぐことができます。

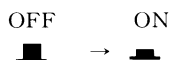
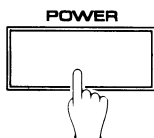
例) 12曲収録のディスクをセットした場合



基本的な演奏

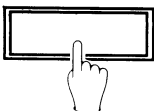
リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。
本取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明しております。

1 **POWER** を押し電源を入れます。



2 **OPEN/CLOSE** を押します。
ディスクトレイが開きます。

OPEN/CLOSE



3 ディスクをトレイにセットします。
(ディスクセットのしかた参照)

4 **OPEN/CLOSE** を押します。
ディスクトレイが閉まります。

ディスクのセットが完了。

※[PLAY], [10キー]またはディスクトレイを軽く手で押してもトレイが閉じて、自動的に演奏がスタート。
その場合は総曲数、総演奏時間を表示しません。

5 演奏のメニューを選びます。

1 曲目から聞きたいときは
(プレイ)

A

好きな曲から聞きたいときは
(選曲プレイ)

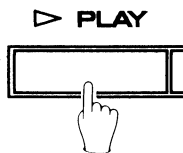
B

曲を順不同に聞きたいときは
(ランダムプレイ)

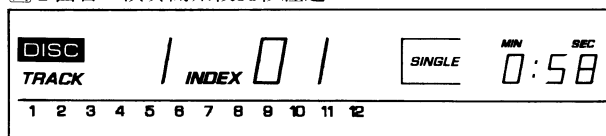
C

A 1 曲目から聞きたいときは

1 **PLAY** を押します。
演奏がスタート



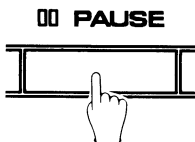
例 1 曲目の演奏開始後58秒経過



全ての曲の演奏が終わると自動的にストップ状態 (1 曲目の頭で待機) になります。

演奏の一時停止

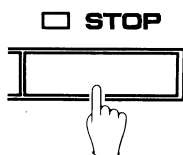
PAUSE を押します。
押したところで一時停止します。
ディスプレイの時間表示が点滅



再び演奏をする時は **PAUSE**
または **PLAY** を押します。

演奏の停止

STOP を押します。



早送り・早戻し

※ 2 秒以上押し続けると高速で早送り・早戻しします。

	SEARCH	
	◀◀	▶▶
演奏時	音出し早戻し	音出し早送り
ポーズ時	音無し早戻し	音無し早送り

B

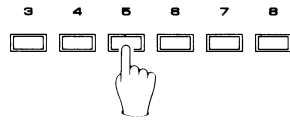
好きな曲から聞きたいときは (ダイレクト選曲、スキップ選曲)

ダイレクト選曲

10キー (数字キー) を押して曲番を選びます。

例) 曲番5曲目を選ぶとき

5 を押します。



5曲目から自動的に演奏がスタート。

- ※演奏中に、他の曲番を押すと、その曲を演奏します。
- ※ディスクに収録された曲数より大きな曲番を指定すると、最終曲番を演奏します。
- ※ポーズ中に選曲した場合は選曲された曲の頭でポーズ状態となります。

曲番5曲目を選んだときのディスプレイ

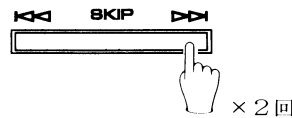


スキップ選曲

SKIP (⏮、⏭) を押して、聞きたい曲を選びます。

例) 曲番3曲目を演奏するとき。

1 SKIP (⏭) を2回押します。



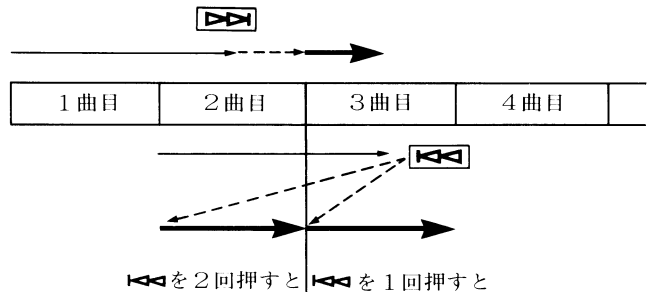
2 PLAY を押します。
3曲目から演奏がスタート。

- ※ ⏭ …押すごとに次の曲の頭に移ります。押し続けると連続して進み、最終曲の頭までスキップします。
- ⏮ …1回押すとその曲の頭に戻ります。1秒以内にもう一度押すと前の曲の頭に戻ります。押し続けると連続して戻り曲番1の頭までスキップします。
- 演奏中にスキップ選曲しますと、選曲された曲の演奏が自動的にスタートします。ポーズ状態またはストップ状態でスキップ選曲したときは [PLAY] を押して演奏を始めます。

曲番3曲目を選んだときのディスプレイ



⏭ を押すごとに次の曲の頭に移ります。



10キー(数字キー)の操作について

+10, +20, +30の使いかた

曲番10以上の曲を選曲する場合には、+10を押しますと、1_と表示がでます。その後に1の位のキーを入力します。

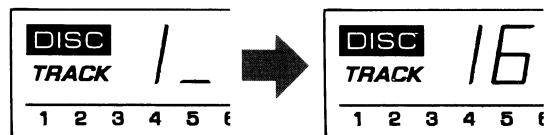
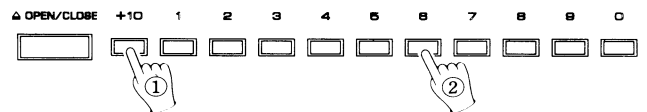
同様に、+20を押すと2_、+30を押すと3_と表示がでます。

例) 曲番16を選曲する場合

- +10を押します。
- 6を押します。

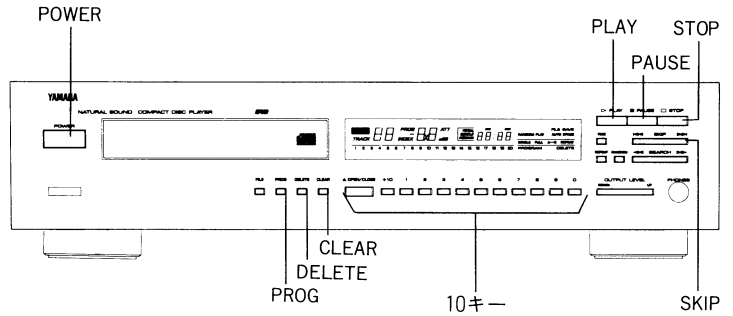
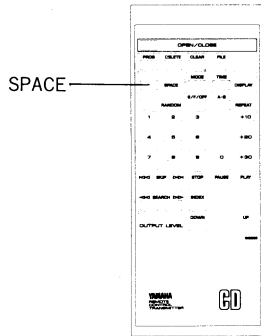
※+10, +20, +30を押すと次に1の位が入力されるまで、約4秒間の入力待ちとなります。1の位が入力されないまま約4秒間経過しますと、自動的に1の位を“0”として演奏を開始します。

※曲番のセットの時は“+10”、“+20”、“+30”、を押すごとに1_、2_、3_と変わりますが、セットされたディスクに収録されていない桁は表示せずに0_に戻ります。



いろいろな演奏-1

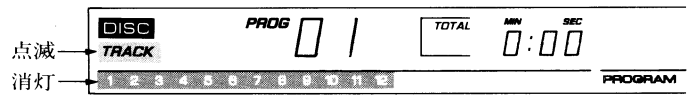
リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。
本取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明しております。



C

好きな曲を好きな順に聞きたいときは (マニュアルプログラム)

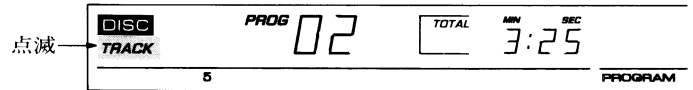
- 1 **POWER** を押して電源を入れます。
- 2 ディスクをセットして、トレイを閉じます。
- 3 **STOP** を押します。
- 4 **PROG** を押します。
- 5 演奏したい曲を10KEY (数字キー) で選びます。
例) この場合は“5”“3”“7”の順に選曲



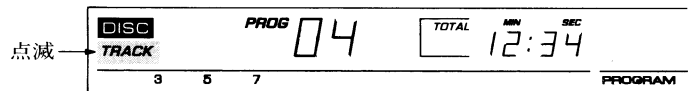
PROG (プログラム) -01に曲番の入力待ち。



入力された曲番と総演奏時間を表示。



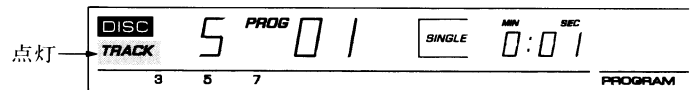
次のプログラム番号に変わり、曲番の入力待ち。



- 5-1 10キーで **5** を押します。
- 5-2 10キーで **3** を押します。
- 5-3 10キーで **7** を押します。

- **PAUSE** を押すと… (ポーズプログラム参照)
- 同様の方法で、最大25曲までプログラムすることができます。
- 25曲までセットしますと、自動的に PROG-01 に戻り演奏スタンバイ状態になります。

- 6 **PLAY** を押します。
この場合、曲番5からスタート。



- 演奏を終えた曲のミュージックカレンダーは消灯します。
- 演奏が終了しますと、自動的に PROG-01 に戻り演奏スタンバイ状態に戻ります。
- ※ インデックスのプログラム演奏はできません。
- ※ プログラムの総演奏時間が99分59秒を超えた場合、TOTALとTOTAL REMAINの時間表示はしません。
- **SKIP** (⏮、⏭) を押すと
- ※ ⏭ …押すごとに次のプログラム曲の頭に移ります。
- ※ ⏮ …押すごとに前のプログラム曲の頭に移ります。
- プログラム演奏中に10キーで他の曲番を選ぶとプログラムは選んだ曲に変更され、その曲が終了すると次のプログラム演奏となります。

ポーズプログラム (テープ編集するときに便利です)

曲番指定の間に、PAUSE (ポーズ) を入れます。

例

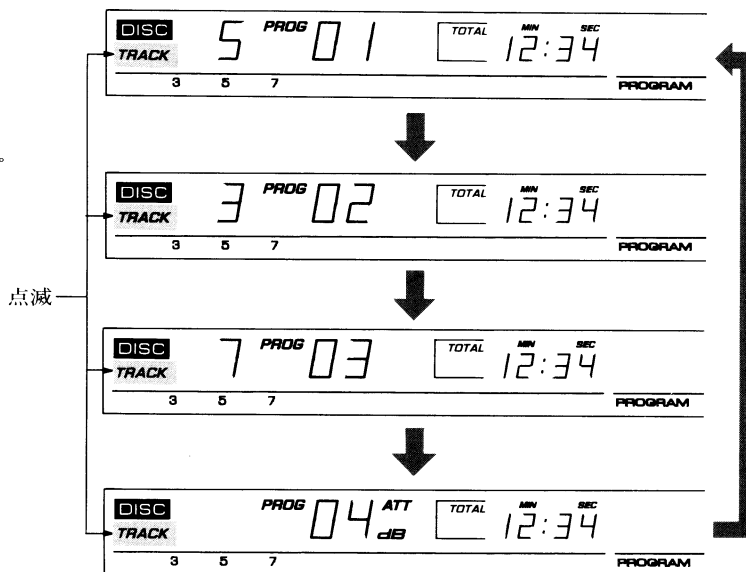


とプログラムして演奏すると、曲番10の演奏後にポーズ(一時停止)します。ポーズ中にテープをA面からB面に入れ換えます。
※この場合、最大24曲までプログラムすることができます。

プログラムのチェック

●マニュアルプログラムのチェック

- 1 **STOP** を押します。
- 2 **PROG** を押します。
PROG (プログラム) -01 と曲番が表示されます。
- 3 **SKIP** (▶▶) を押します。PROG-02 から順にプログラムされた曲順を表示します。SKIP (◀◀) を押しますと、逆のプログラムされた曲順を表示します。



●デリートプログラム

ディスプレイのミュージックカレンダーで確認します。

プログラムの変更・追加

- 1 **STOP** を押します。
- 2 **PROG** を押します。(マニュアルプログラム)
または **DELETE** を押します。(デリートプログラム)
曲番と PROG (プログラム) -01 が表示されます。
- 3 **SKIP** (◀◀ または ▶▶) を押します。
変更したいプログラムをディスプレイに表示させます。
追加の場合は、最終のプログラム番号を表示させます。
- 4 10 キーで新しい曲をセットします。
変更の場合は、前のプログラムは消え、新しいプログラムに変更されます。
追加の場合は最後のプログラムに新しい曲番がセットされます。

プログラムの解除

- 1 **STOP** を押します。
- 2 **CLEAR** を押します。
"PROGRAM" または "DELETE" 消灯。

CLEAR



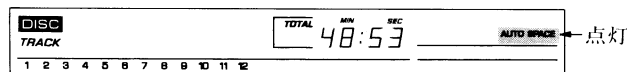
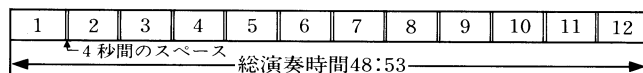
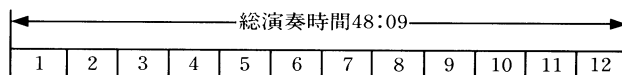
オートスペースについて

曲間が充分でないディスクの場合、そのままテープに録音しても、テープ演奏時にうまく選曲ができないことがあります。録音時に、SPACE を押して各曲間に 4 秒間のスペースを挿入するとデッキ側の選曲ミスを防ぐことができます。

- 1 **SPACE** を押します。



SPACE



ディスプレイに AUTO SPACE が点灯します。
曲間には 4 秒間のスペースが挿入され、TOTAL TIME、TOTAL REMAIN TIME はスペース時間を加えた時間表示に変わります。

いろいろな演奏-2

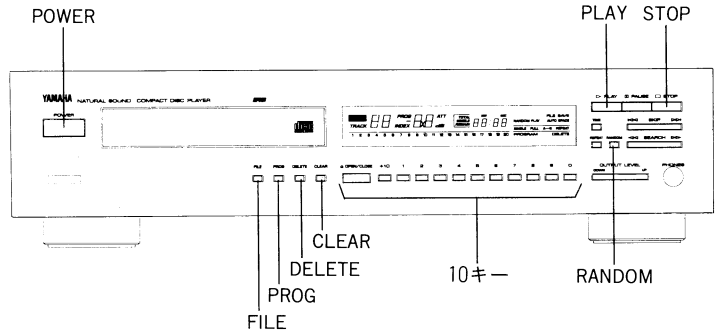
リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。
本取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明しております。

1 **POWER** を押して電源を入れ、
ディスクをセットしてトレイを閉めます。

2 演奏のメニューを選びます。

曲を飛ばして聞きたいときは **D**
(デリートプログラム)

好きな曲を好きな順に聞きたいときは **E**
(ランダムプレイ)



D 曲を飛ばして聞きたいときは (デリートプログラム)

1 **STOP** を押します。

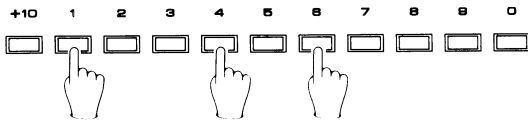
2 **DELETE** を押します。

DELETE



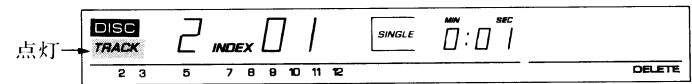
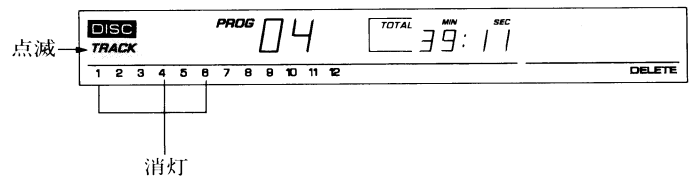
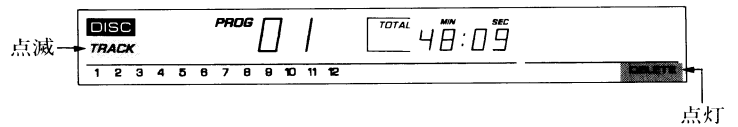
3 演奏しない曲を10キー (数字キー) で選びます。
例) この場合は“1”“4”“6”です。

10 キーで **1**、**4**、**6** を押します。



4 **PLAY** を押します。

この場合、曲番2から演奏がスタートします。



プログラムの保存 (SAVE)

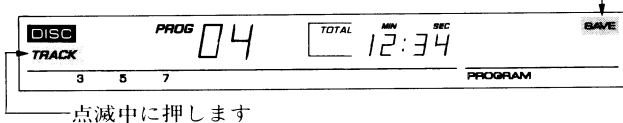
設定したプログラムを保存することができ、ディスクをトレイに入れるたびにプログラムをセットする手間がはぶけて便利です。

プログラムの保存のしかた

1 プログラムの設定します。(マニュアルまたはデリート)

2 **FILE** を押します。
プログラムの保存が完了

点滅→点灯



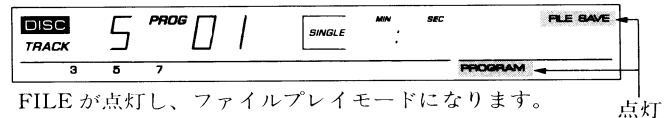
- ※プログラム保存は、ディスプレイに TRACK が点滅している時に保存可能です。一旦プログラム演奏を開始したときは STOP を押したのち、再び PROG を押して TRACK を点滅させてください。
- ※ポーズプログラムは保存できません。

プログラムが既に保存されたディスクの演奏

1 プログラムが保存されているディスクをセットして、トレイを閉じます。
※ディスプレイに“SAVE”が点灯。“SAVE”が点灯しない時、そのディスクはプログラムがセットされていません。

2 **FILE** を押します。

※既に FILE が点灯している場合は押す必要はありません。



FILE が点灯し、ファイルプレイモードになります。

3 **PLAY** を押します。

プログラム演奏開始。

- ※ FILE を押さずに PLAY を押すと通常演奏がスタートします。
- ※保存できるプログラムはディスクごとに1種類です。
- ※1ディスク10曲プログラムで100枚程度の保存が可能です。
- ※1時間通電後、電源 OFF にしても約1ヶ月間程度の保存が可能です。
- ※一度プログラム保存したディスクに後から別のプログラムを保存し直すと前のプログラムは消え新しいプログラムが保存されます。

E

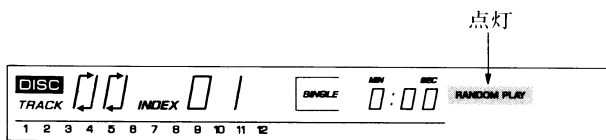
曲を順不同に聞きたいときは (ランダムプレイ)

RANDOM

を押します。

ディスプレイの曲番インジケーターが回転したあと本機がディスクの曲を順不同に演奏を始めます。

RANDOM



ランダム演奏の解除

● **RANDOM** または、**STOP** を押します。

※ランダム演奏中はインデックス演奏はできません。

※ランダム演奏中に [SKIP ▶▶] を押しすると、演奏の終わっていない別の曲を選曲し、演奏します。 また [SKIP ◀◀] を押しすると、演奏中の曲の頭に戻り再びその曲を演奏します。

保存されたプログラムの消去

ディスク1枚分だけプログラムを消すとき

1 プログラム消去したいディスクをセットして、[STOP] を押してSTOP状態にします。
このとき既に“FILE”が点灯していて自動的にプログラムが呼び出されたら

2 **CLEAR** を押します。

※“FILE”が消灯していた場合はこの操作は不要。

“PROGRAM” 消灯

3 **PROG** を押します。

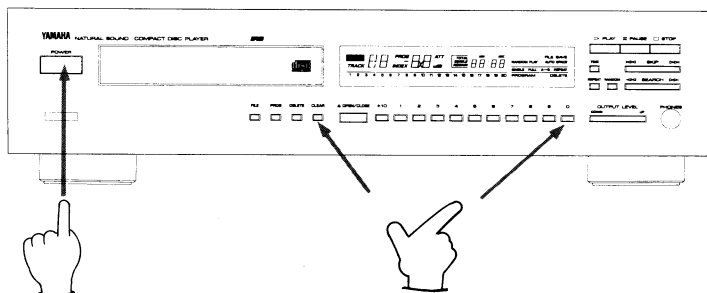
4 **FILE** を押します。

“SAVE” ←消灯

このディスクの保存プログラムが消去されました。

本機保存の全てのプログラムを消すとき

本体の [CLEAR] と [10 キー] の [0] を同時に押しながら、POWER を押して電源をいれます。

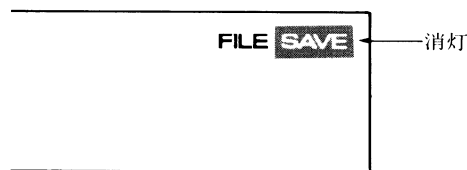
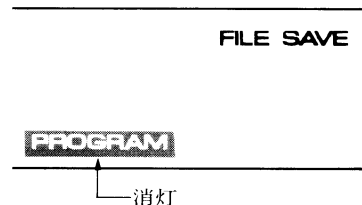
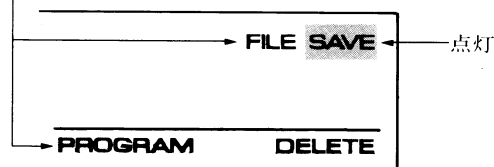


ファイル クリア

“FILE” → “CLr” の順に点灯

これで本機に保存されている全てのプログラムが消去されました。

既にFILEが点灯していた場合は、自動的に点灯します。



いろいろな演奏-3

リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。
本取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明しております。

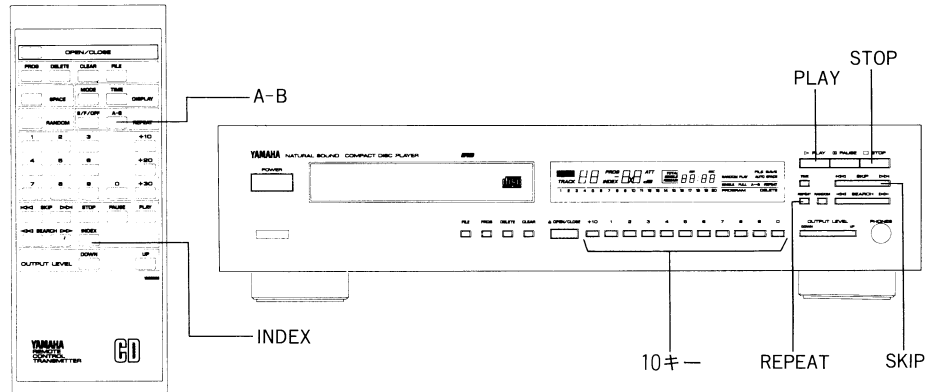
1 ディスクをセットして、トレイを開めます。

2 演奏のメニューを選びます。

インデックスから聞きたいときは **F**
(インデックス演奏)

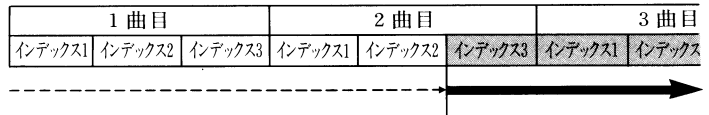
繰り返して聞きたいときは **G**
(シングル、フルリピート演奏)

指定した時間に聞きたいときは **H**
(タイマー演奏)

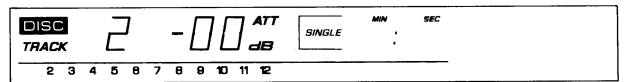
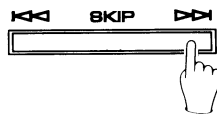


F インデックスから聞きたいときは (インデックス演奏)

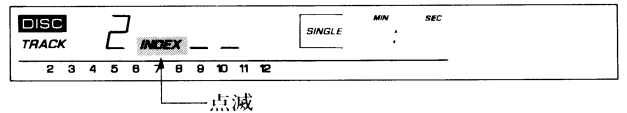
→例 曲番2のインデックス3から演奏を始めるときには



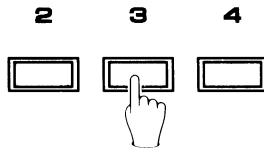
1 演奏したい曲を選びます。
この場合は、[SKIP] (▶▶) を1回押します。
(10 キーの **2** でも選べます。)



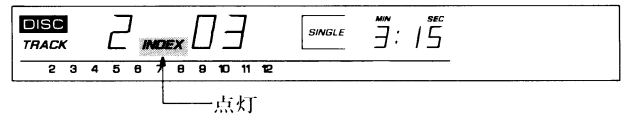
2 リモコンの **INDEX** を押します。



3 10 キーで **3** を押します。



インデックス演奏がスタート



- ※インデックス演奏は、指定した箇所少し前から演奏することがあります
- ※インデックス番号の記録されていないディスクの場合は、インデックス番号1を表示し、指定された曲の頭から演奏を開始します。
- ※ディスクに記録されているインデックス番号より大きな数を指定した場合は、指定された曲の最後のインデックス番号から演奏を開始します。

■インデックスの指定モードの解除

[INDEX] か [PLAY] または [STOP] を押します。

“INDEX” 消灯。

インデックスとは

インデックス番号(クラシック曲の第何楽章など)が設定されているディスクの場合は、聞きたいインデックス番号のところから演奏をスタートさせることができます。

※インデックス番号が記録されているディスクには **INDEX** マークがディスクの解説書に記載されています。ディスクの解説書をお確かめください。

G

繰り返して聞きたいときは (シングル、フル A-B リピート演奏)

シングルリピート：指定した1曲を繰り返して演奏します。

フルリピート：ディスクまたはプログラムの全曲を繰り返して演奏します。

A-B リピート：指定した2点間を繰り返して演奏します。

※プログラム演奏やランダム演奏もリピート演奏することができます。ただし、プログラム演奏中の A-B リピートはできません。

■シングルリピート、フルリピート

[REPEAT] を押します。

[REPEAT] を押すごとにリピートモードが変わります。

■A-B リピート

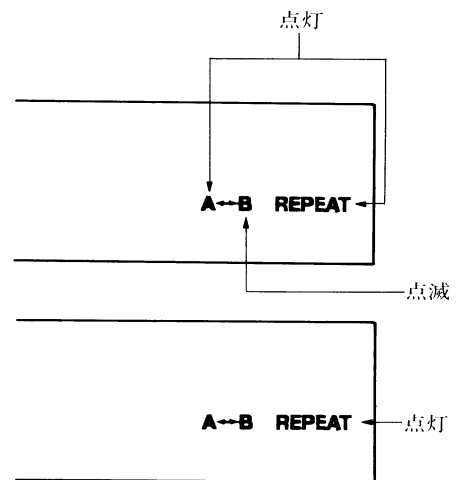
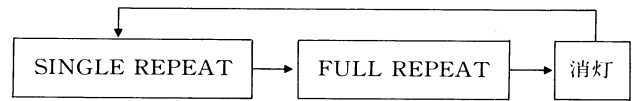
1 繰り返したい箇所でもリモコンの [A-B] を押します。
A 点を指定。

2 繰り返しを終えたい箇所でもう一度リモコンの [A-B] を押します。
B 点が指定され、A-B 間を繰り返して演奏。

■リピート演奏の解除

[REPEAT] (または REPEAT S/F/OFF) を押して、SINGLE REPEAT、FULL REPEAT または A-B REPEAT インジケータを消灯させます。

シングルリピート、A-B リピートはディスプレイを開閉しても解除でき、また、A-B リピートはもう一度 A-B を押しても解除できます。



H

指定した時間に聞きたいときは (タイマー演奏)

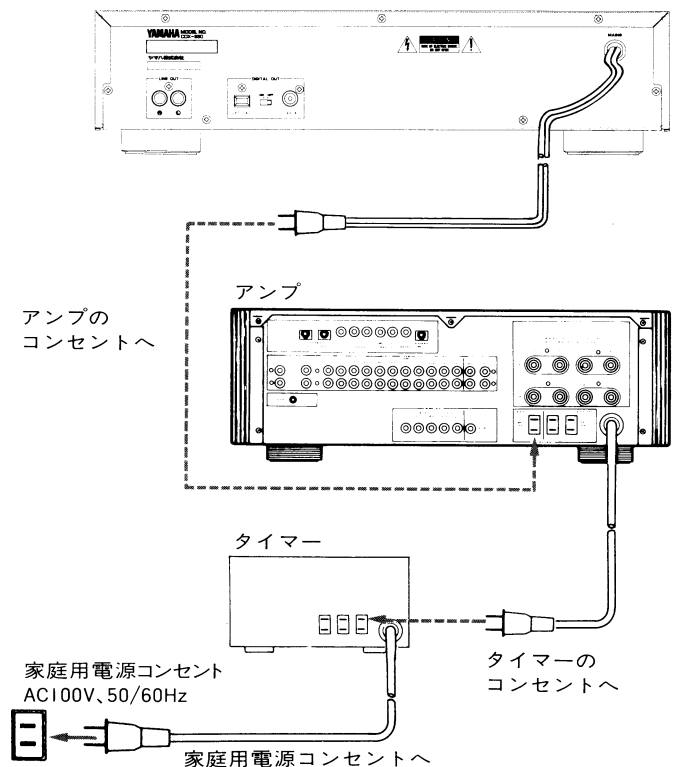
別売のオーディオタイマーと組み合わせると、セットした時間に CD の演奏を開始することができます。

接続 右の図の様にします。

操作

- 1 本機とアンプの電源を ON にします。
- 2 ディスクをセットします。
- 3 演奏を開始して、アンプの音量を調整します。
※ランダム演奏または、リピート演奏もできます。
- 4 タイマーのセットします。
(演奏開始時間、終了時間)
このとき、各機器の電源が切れたことを確認してください。
※タイマーに時間セットをするしかたはタイマーの取扱説明書をご参照ください。

以上でタイマーにセットされた時間になれば、タイマー演奏を開始します。



ディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク（CD方式）専用のプレーヤーです。

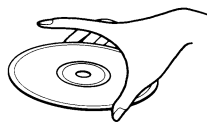
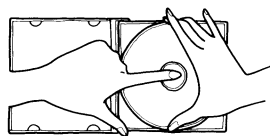
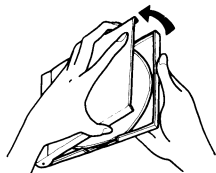


マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

- ・規格外のディスクはご使用にならないでください。
規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

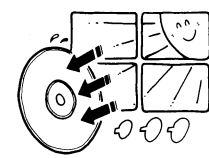
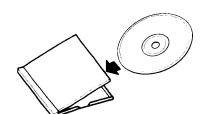
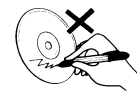
■ケースからの取だしかた

1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。
2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押え、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。
3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



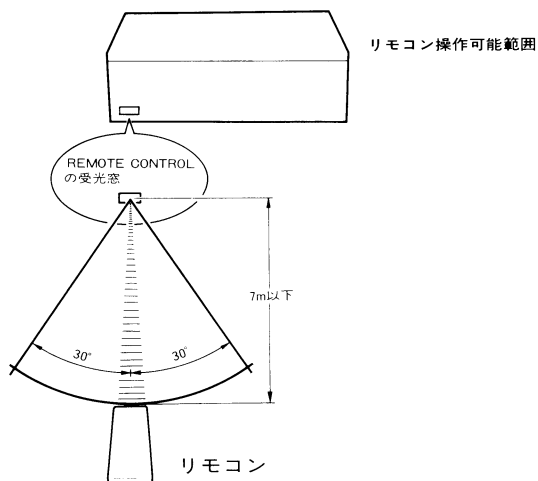
■取り扱いの注意

- ・信号記録面に指紋やほこりがつきまじたら、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音には影響ありません。
- ・レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンで文字を書かないでください。
- ・曲げたりしないでください。
- ・信号記録面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- ・演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- ・レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また水で拭くことも避けて下さい。
- ・直接日光が当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形する原因となりますので置かないでください。



リモコンについて

リモコン信号は直進性の高い赤外線を使っています。リモコンと本体受光窓の間に遮蔽物が入らないようご注意ください。



付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作を起こすことがあります。リモコンによって誤動作をする機器があるときは、その機器の受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。ていねいに扱ってください

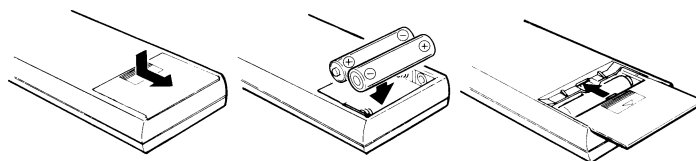
お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

●電池交換のしかた

- 1 リモコンの裏のふたをはずします。
- 2 単4型 (SUM-4) 乾電池を2個、+、-を正しく入れてください。
- 3 電池をセットしましたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



電池交換の時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

■乾電池についてのご注意

- ・単4乾電池をご使用ください。
- ・プラス (+) とマイナス (-) の向きを、リモコンのケースの表示どりに正しく入れてください。
- ・新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- ・種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・電池の (+) と (-) を金属片で直接つなぐこと (ショート) はしないでください。
- ・長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- ・万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのラベル面を上にして入れてください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	接続方法と DIGITAL OUT スイッチが間違っている	3 ページの接続のしかたをよく読んでください
音飛びがする	本機が振動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
ヘッドホンから音がでない	リアパネルの DIGITAL OUT ON/OFF スイッチが ON になっている	スイッチを OFF にしてください。詳しくは 3 ページ参照
	OUTPUT LEVEL が $-\infty$ になっている	OUTPUT LEVEL の UP 側を押して音量を上げてください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	乾電池を 2 本とも交換してください
	送信機が受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください
	本機を設置している場所の照明が明るすぎる 受光部に強い光が当たっている	照明を消すか、暗くしてからキーを押してください

参考仕様

■形式	コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム
■オーディオ特性	
周波数特性	2 Hz~20 KHz+0.5 dB
ディエンファシス偏差	±0.5 dB
高調波歪率+雑音 (1 KHz)	0.003%以下
S/N 比	110 dB (EIAJ)
ダイナミックレンジ	98 dB
ワウ・フラッター	測定検知限以下
チャンネル・セパレーション (1 KHz)	96 dB
出力電圧 (1 KHz 0 dB)	2 V±0.5 V
出力インピーダンス	600 Ω
ヘッドホン出力電圧 (150 Ω 負荷、-20 dB、LEVEL-0 dB)	180 mV
■方式	
光ピックアップ	3 ビームレーザー
エラー訂正方式	CIRC 2 重エラー訂正方式
D/A 変換	3 次ノイズシェイピング 1 bit 方式 4 DAC
フィルター	18 bit デジタルフィルター

■機能	
頭出し	SKIP (◀▶) による順次頭出し
インデックスサーチ	ストップ時 INDEX、10 キーによる指定
音出しサーチ (演奏時)	SEARCH (◀▶) によるサーチ 2 段階スピード自動切換
ポーズ	PAUSE を 1 回押す
ストップ	STOP を押す
総演奏時間表示	TIME を押す
演奏残り時間表示	TIME を押す
プログラム機能	マニュアルプログラム (25 曲) プログラム総演奏時間表示機能
リピート	A-B 間、1 曲、全曲またはプログラム全部のリピート
タイマープレイ	電源 ON で演奏開始 (ランダム演奏、リピート演奏可能)
■総合	
電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	CDX-1030 17W CDX-930 14W
外形寸法 (W×H×D)	CDX-1030 435×111.5×342 mm CDX-930 435×111×342 mm
重量	CDX-1030 10.5 kg CDX-930 5.7 kg
付属品	2 P 出力コード リモコンユニット 単 4 乾電池 (SUM-4) × 2

*仕様および外観は改良のため予告なく変更をすることがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■お客様ご相談窓口

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内
北海道営業所 TEL (011) 512-6115

仙台 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル4F
東北営業所 TEL (022) 223-3101

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
首都圏第一営業所 TEL (03) 255-5691
首都圏第二営業所 TEL (03) 255-2201
神田営業所 TEL (03) 255-6767

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル
北関東営業所 TEL (025) 241-2084

神奈川 〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内
神奈川営業所 TEL (044) 434-4871

浜松 〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ッ池センター内
浜松営業所 TEL (0534) 71-1207

名古屋 〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内
中部営業所 TEL (052) 782-7551

大阪 〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内
関西営業所 TEL (06) 647-6411
日本橋営業所 TEL (06) 647-6411
中央営業所 TEL (06) 647-6411

広島 〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内
中国営業所 TEL (082) 244-3745

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
九州営業所 TEL (092) 472-2131

本社 〒430 浜松市中沢町10-1
AV機器事業部
お客様ご相談センター TEL (0534) 60-3409

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

（電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口）

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 513-5036

仙台 〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236-0249

東京 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434-3100

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
TEL (025) 243-4321

松本 〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F
TEL (0263) 32-5930

浜松 〒435 浜松市上西町911 番地 ヤマハ宮竹工場内
TEL (0534) 65-6711

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ名古屋流通センター3F TEL (052) 652-2230

京都 〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483第2マスイビル
TEL (075) 361-6470

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
TEL (06) 877-5262

神戸 〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸店内
TEL (078) 321-1195

四国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内
TEL (0878) 22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39
TEL (082) 874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472-2134

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

国内営業部 TEL (0534) 60-3451

生産部品質保証課 TEL (0534) 60-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。